



〒364-0003 北本市古市場 1-36

TEL/FAX 048-591-5762

携帯 090-8848-8465

Email tatsumi3@gmail.com

URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~oshimatatsumi/>

1965年北本生まれ。

北本市立中丸小学校、北本市立東中学校、埼玉県立不動岡高等学校、東洋大学経済学部卒業。

三国コカ・コーラボリング(現コカ・コーラボトラーズジャパン)入社。その後、経営コンサルティング会社、投資顧問会社勤務、大島あつし衆議院議員公設秘書を経て2011年より北本市議会議員。現在4期目。



人にやさしく、暮らしやすいまち

安心・安全なまちづくり

財政の健全化

行政改革の推進

令和6年第3回定例会についてご報告します。

令和5年度決算について

令和5年度一般会計の予算現額 274 億 7,971 万 3,000 円に対し、歳入決算の収入済額は 264 億 543 万 5,795 円となり、執行率 96.1%、前年度比 0.1 ポイントの減です。歳出決算の支出済額は 251 億 1,403 万 2,356 円となり、執行率 91.4%、前年度比 0.9 ポイントの増となりました。

実質収支比率について

令和5年度の実質収支比率は 8.7%と前年度比で 0.8 ポイント低下し、2年連続の低下となりました。これは、予算と決算の乖離が少なくなるように努めたことで、一定の効果があつたものと考えられます。

実質収支比率は、適正とされる水準からは若干高めですが、北本市を含む県内の類似 14 団体の平均値 9.1%、中央値 8.6%と比べると概ね中間に位置している状況です。

実質収支比率が高くなる要因の一つは歳出不用額であり、今後においては事業執行の適正管理、事業の精査、可能なものについては予算の補正を行うなど、健全な財政運営が求められます。

実質収支比率について、地方公共団体は営利を目的としているわけではないため、民間企業のように実質収支の黒字の額が大きければ大きいほど良いというものではありません。

適正な規模とすることが必要で、概ね 3~5% が適正な水準とされています。

ふるさと納税について

令和5年度のふるさと納税は、4年連続で県内1位となりました。件数は 8,790 件で、前年度比 1,495 件、20.5%の増、金額は 11 億 9,588 万 9,000 円で、前年度比 8,570 万 7,000 円、7.7%の増となりました。

市税等の滞納繰越調定額の乖離について

市税等の滞納繰越分の調定額について、基幹系システムと財務系システム間で不一致が生じていたことが判明しました。この二つのシステムはセキュリティの観点から切り離して運用しています。そのため基幹系システムでデータの更新があつた場合に財務系システムにそのデータを連携させる必要がありますが、その際に財務会計システム側で調定票の起票漏れがあり乖離が生じました。ただし、基幹系システム側の税目(科)ごと、個人ごとの課税額、収納額の管理には問題はありません。

今後は、各種再発防止策が講じられるとともに、財務システムでの不一致については、令和6年度の決算の中で修正されることとなります。

この件に関する記述が監査委員の審査意見書になつたことから、本会議において疑義を呈し、監査委員による説明を求めました。

その後、監査委員から議会に対して説明がありました。内容としては一応納得できるものでしたが、その旨を審査意見書に記述すべきだったのではないかと思います。

大島たつみの一般質問より（抜粋）

小・中学校給食費について

- (問) 現在、中学校では給食費の徴収がないが、このことで教職員の負担は変化したのか。
- (答) 学校給食費の引き落とし状況を教職員がその都度確認し、未納家庭へ連絡をするなどの対応が必要なくなったことから、業務負担の軽減につながったと聞いています。
- (問) 欠席や不登校の場合の返金は。
- (答) 給食費の返金については、各学校の学校給食運営規則で定めています。
- (問) なぜ公会計をやめ、私会計へ移行したのか。
- (答) 各中学校において給食調理を実施するようになったことから、小学校と同様に私会計とすることが適当であるとの判断に至ったものです。
- (問) 文部科学省から学校給食費の公会計化等の推進について通知が出ていることから、給食費は私会計から公会計へと移行すべきではないか。
- (答) 公会計を採用するには、システム等の多額の導入経費や人員の確保が必要となるため、関係部内で調整、研究を行いたいと考えています。
- (問) 来年度、小・中学校の全てにおいて給食費を完全無償化にする意思はあるのか。
- (答) 【市長】 学校給食費の無償化につきましては、来年度当初予算編成の中で検討します。

物価上昇分として15%を給食会計へ交付していますが、これは令和3年の消費者物価指数を基に算出しています。その基準からすると、現在は約30%上昇していることとなります。

今後も物価の上昇が続くと、そう遠くない将来に値上げの可能性も考えられますので、給食費の無償化が望まれるところです。

シビックプライドについて

- (問) シビックプライドの定義をどのように捉えているのか。
- (答) シビックプライドとは、一般的には都市に対する市民の誇りという概念で使われています。これは、郷土愛など、まちへの愛着、魅力だけではなく、それを発展させ、まちの活性化や課題解決に向けた取組に参画するなど、地域をよりよくしようという行動を意味します。
- (問) シビックプライドをどのように測定しているのか。
- (答) 自治体シティプロモーションの第一人者である東海大学河井孝仁教授が提唱する生活指標、mGAP（修正地域参画総量指標）を採用しています。
- (問) 学校での取組状況は。
- (答) 小学校3年生の社会科で自分たちの住んでいるまちや身近な地域について学習を行っています。その際、副読本「きたもと」を活用し、まち探検を行うなど、本市の産業の様子や地域の移り変わり、国指定史跡となるデーノタメ遺跡などについて学習しています。

小学生の時に、北本市のことについて学習したことが思い出されます。そういったことを通して、まちへの愛着が強まりました。その気持ちを忘れずに、今後も市政に取り組みます。



一般質問の録画配信は、こちらからご覧いただけます。

【あしがき】

次回の令和6年第4回定例会は、11月27日(水)から12月18日(水)の予定です。

今後も皆様のご意見・ご相談などお寄せいただけましたら幸いです。

